

令和6度 平塚市山城子どもの家運営委員会 会議要旨

日 時 令和6年5月17日(金) 18時00分～18時40分

場 所 山城子どもの家

出席者 <委員>

岩崎委員、加藤委員、内田委員、府川委員、松崎委員、武井委員、大木委員、久保田委員、片之坂委員、永田委員

(委員10名中、全員出席)

<事務局>

青少年課 小嶋課長、嶋崎担当長、高橋主事

子どもの家 赤木主事

傍聴者 0人

1 開会

2 子どもの家運営委員委嘱式

3 あいさつ

4 子どもの家運営委員及び職員自己紹介

5 子どもの家運営委員について

事務局から条例、施行規則を資料として子どもの家の運営や運営委員に関することについて説明を行った。

6 議題

(1) 利用状況報告

- ・主事が資料1-1「平塚市山城子どもの家利用状況表」について、各年度の開館日数と臨時休館及び利用制限の状況を説明した。
- ・資料1-2「各館5年間利用者推移及び山城10年間利用者推移」については、市内4館あるうち各年度とも山城子どもの家の利用が最も多いこと、10年間の利用者推移では、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく減少したこと説明した。
- ・資料2-1小学校中学校別グラフについては、各月とも山下小学校児童の利用が圧倒的に多く、中学校では、山城中学校の生徒の利用が一番多いことを説明した。
- ・利用状況については、各委員から意見、質問等はなかった。

(2) 自主事業について(令和4年度報告及び令和5年度予定)

- ・資料3 平塚市山城子どもの家自主事業について、令和5年度「科学マジックショー」及び「遊びの広場」の実施内容や参加人数の報告を行った。また、令和6年度実施予定(案)の説明を行い各委員から次のような意見、質問等があり実施承認された。

【府川委員】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、今年度の募集人数は、どのように考えているか。

科学マジックショーの会場は、図書室であり面積を考慮すると30人程度と考えている。遊びの広場については、プレイルームで実施するので、できるだけ多くの子どもに参加していただきたいが、今後の状況を踏まえて考えていきたいと思う。

【神田委員】

自主事業の募集方法や公民館だよりに掲載したのか。

募集時期が決定した際に公民館主事との調整で作成締め切りに日程が合えば依頼する。昨年度は、公民館だよりへの掲載をしていないが、旭南公民館及び西図書館、子どもの家館内に募集ポスターを掲出した。

(3) その他

・ア 資料4の1 4の2 留守家庭児童対策事業について、平塚市の子どもの家留守家庭児童対策実施運営要綱に規定された、対象児童や利用許可人数を説明し児童の登録状況を報告した。

【神田委員】

・保護者は、どのようにしてこの事業を知るのか。

市のホームページに掲載しているとともに地域に人たちの口伝えで承知されている。市内4館のみで、事業を実施しているため広くPRできていない。

・4館ということは、横内中学校、山城中学校、太陽中学校、大野中学校、の4学区なのか。そのとおりであると回答。山城子どもの家は、山下小学校及び勝原小学校の児童を受け入れることができる制度であるが勝原小学校からは、遠いため申し込みが無い。

・預かりの時間は、何時までか。

4月から9月末までは、17時00分まで10月から3月末までは16時30分までと回答した。

【高瀬委員】

・勝原小学校児童の申し込みがあったら児童が一人で子どもの家へ来るのか、学童クラブと同様に費用がかかるか。

下校時の子どもの家へ来館は、単独であり帰宅については、保護者の迎えを依頼している。費用はかからない。

【加藤委員】

・20人の定員であるが実際の申し込みは、どのような状況なのか。

申し込みは先着順であり今年度は、申し込み日当日に定員に達している。

・申し込み出来なくてあふれている児童がいるのか。

今年度は申し込み日に間に合わなかった児童がいたが、学童クラブと留守家庭事業の両方を申し込んだ児童がいたため間に合わなかった児童のキャンセル待ちを受けた。両方申し込んだ児童は、学童クラブへ行ったので留守家庭事業キャンセル待ちの児童を繰り上げた。それ以降キャンセル待ちを受けていない。

7 閉会

以上